

## 県内企業講座

6月30日(金)

本校の卒業生であり、小松精練株式会社代表取締役会長の中山賢一氏を講師にお迎えし、「今、わが社の求める新入社員像-求む!“よそ者”、“若者”“バカ者”とは-」という題で講演をして頂きました。

地元のトップ企業でグローバルに活躍するOBのお話を伺い、今後の進路や生き方を考えるきっかけになりました。



日本の企業について詳しく教えて頂きました。



大谷翔平など、有名選手が着るユニフォームの素材も作っています。

### ●生徒の感想より

- ・社会で大切なのは文系が理系の技術をマーケットの需要に合わせるのだと知りました。様々な経験をつみ、多様な角度から物を考えて発想を出せるようになることがこれからの課題です。
- ・表題の「よそ者」とは常識を変えよう！という心意気を持った者、「若者」とは失敗しても諦めない根気のある者、「バカ者」とは何度も何度も執念深くやり続けることのできる者のことだった。古い常識にしがみつかず、新しいことを積極的にやろうという意欲のある社員が求められているのだと分かった。
- ・今後日本の将来を担っていくであろう私たちが何をすべきなのかについて考えさせられた。問題に向き合い知恵を出し合い協力し合うことの大切さをとても感じた。そして、文系の知恵が必要であることを知った。

## 京都大学研究室を訪問しました

7月11日(火)



## ●大学の教授と懇談 & 講義・ゼミを初体験！

### A班: 相関環境学(浅野 耕太先生)



浅野先生は経済学の観点から環境問題に取り組まれています。囚人のジレンマという寓話の講義のあと、松校生からのいろいろな質問に答えていただきました。

### B班: 人文地理学(山村 亜希先生)



小松市周辺の新旧地形図から、小松市の地形や歴史、地域の特性などを読み解きました。身近な地域の読図を行い、地理学の奥深さを学びました。帰りのバスでは実際に読み解いた場所を見て興奮しました。

### C班: 日本語学(佐野 宏先生)



万葉集にある、持統天皇の「春過ぎて夏来たるらし白妙の衣干したり天の香具山」という和歌を読み解きました。単語と文法の解釈だけに終わらず、その先にある時代性や人間の感情に注目することの大切さを学びました。

### D班: 二十世紀学(藤目 ゆき先生)



日本の占領下における米軍兵士による事故、事件とその補償という、歴史の中で目を向けられてこなかった問題に焦点を当て、それが現在の諸問題の解決につながるという深い内容でした。

### 本校OBの京大生との交流会



本校出身の先輩に高校時代の勉強法や、部活との両立について詳しく教えてもらいました。身近な先輩の体験談は非常に参考になりました。



## ●生徒の感想より

- ・課題研究を進めるうえでのコツを教えて頂けた。境界を明確にした操作性定義を仮において、臨機応変に考えていくと良いと知れた。今後の研究に活かしていきたい。
- ・「何でも好きなことをやれば良い」と先生が何度も口にしてるのが印象的だった。大学の4年間を社会に出るまでの過程と捉えるか、それとも4年間くらい好きなことをしたいと捉えるかで過ごし方も変わるんだろうなと思った。
- ・OBの方からのお話で、授業で苦手を潰して、学校からの課題をやりきることが大切だと分かった。分からないことをそのままにしておかず潰す、ということを実践していきたい。
- ・先生が京大文学部について、自由に自分で考えさせてくれる環境とおっしゃっていて、そのために高校生は与えられるものを自分でこなすことが大切と教えてくれたので、大学生になって楽しむために今を頑張りたいと思った。

### ★「人文科学コース」今後の予定

8月25日(金) Jゼミ中間発表会

9月20~22(水~金) 関東ヒューマンセミナー